

SEIWA

OPE-MAN/MP-310207

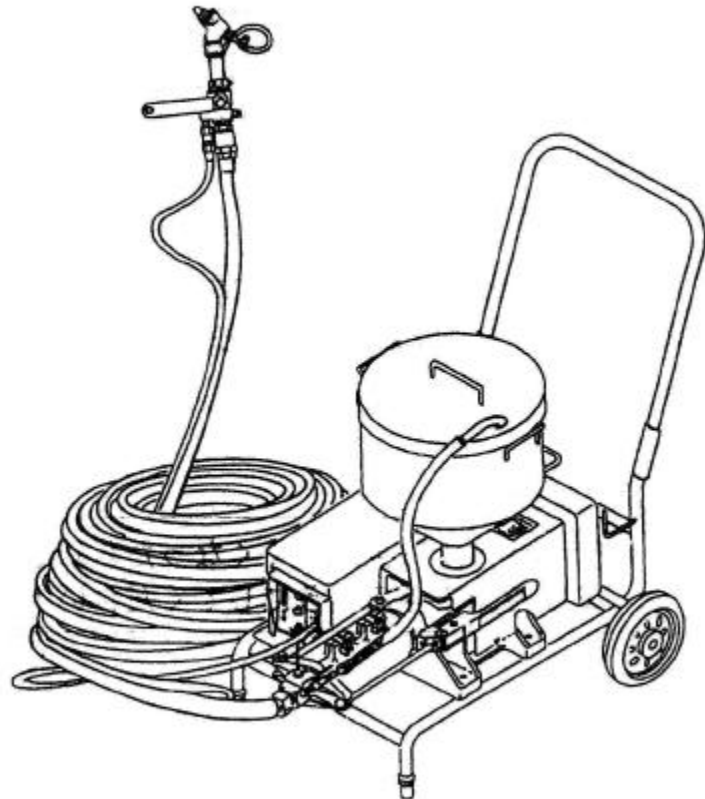
セイワ小型建築塗材吹付機

マルキホンプ

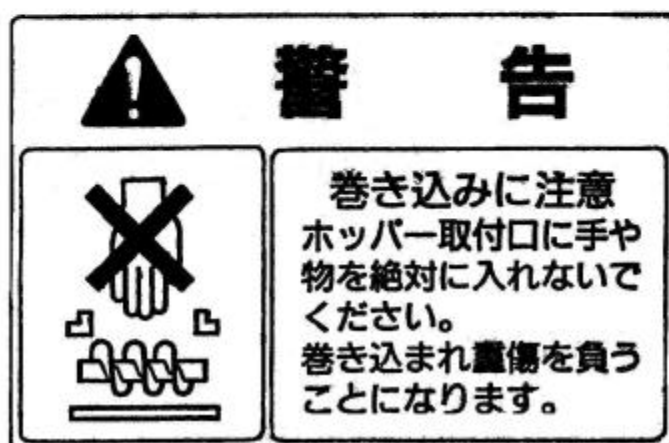
品番 MP-50/MP-80/MP-50SC/MP-80SC

取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しくお使いください。誤った取り扱いは機械の故障や大変な事故につながります。機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。



警告ラベルについて



危険ですから圧力がかかっている状態ではこのレバーを引かないように注意して下さい

注意

- 警告ラベルは見えにくくなったら新しい物に貼り替えて、常に確認できるようにして下さい！

はじめに

この度は、セイワ小型建築塗材吹付機「MPシリーズ」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。
当機ご使用につきましては、この取扱説明書をお読みいただき
未永くご愛用していただきたく存じます。又、品質、性能向上
その他の事情で部品の変更を行うことがあります。その際は
本書の内容と一部異なる場合があります。お気軽に最寄りの
弊社営業所までご連絡をお願いします。

目 次

1	使用上の注意(安全にご使用いただくために)	1
2	仕様諸元表	9
3	各部名称、機能及び、基本操作	10
4	作業操作手順	12
	4-1 準備	12
	4-2 作業開始	14
	4-3 吹付け作業	18
	4-4 作業中断	19
	4-5 洗浄手入れ	19
5	上手な点検と保守・点検	22
	5-1 塗材ホース内に残った材料を 簡単に取り洗浄する方法	22
	5-2 骨材を使用して 塗材ホースを詰まらせない方法	23
6	ポンプの組立て	25
7	トラブル対策	26

1 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

ご使用前に必ず取扱説明書を読み、内容を理解したうえで全ての警告を守り作業を行って下さい。

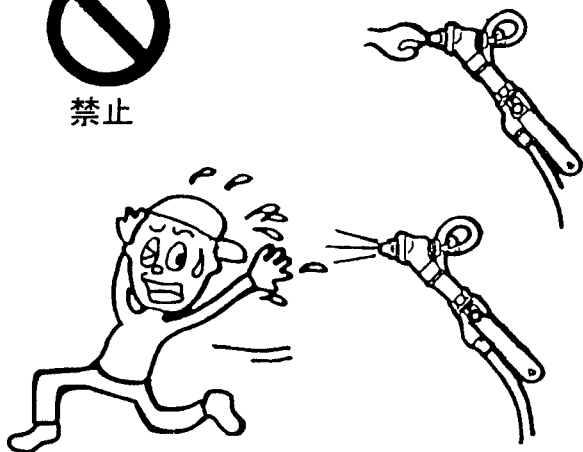


！塗料噴出に注意！

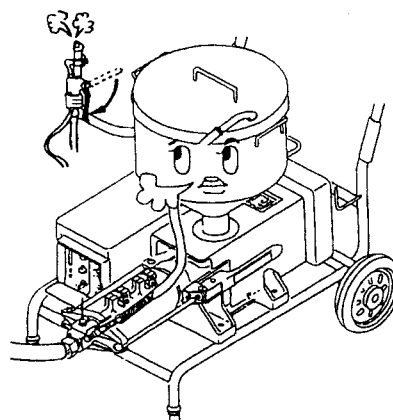
- 玉吹きガンを人体に向けたり、作業中ガン先に手を当てたりしないでください。塗料の噴出によりケガをする危険があります。



禁止



- 作業後、玉吹きガン、塗料ホースを外す場合は必ずスイッチを切り、玉吹きガンのレバーを開き、ホース内の残圧を抜いて下さい。



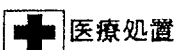
- 塗材ホース(ツインホース)は外観にキズ、折れ曲がりや、つぶれている物は絶対に使用しないで下さい。又、 80 kgf/cm^2 (8 Mpa)以上の圧力はかけないでください。ホース破損の原因になります。



禁止



- 必要以上に塗料圧力をかけないでください。



たとえどのような塗料(液体)であっても皮膚を傷つけた場合は、軽傷として扱わず直ちに医師による適切な治療を受けてください。又、どのような液体によるものかを的確に教えてください。

1 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

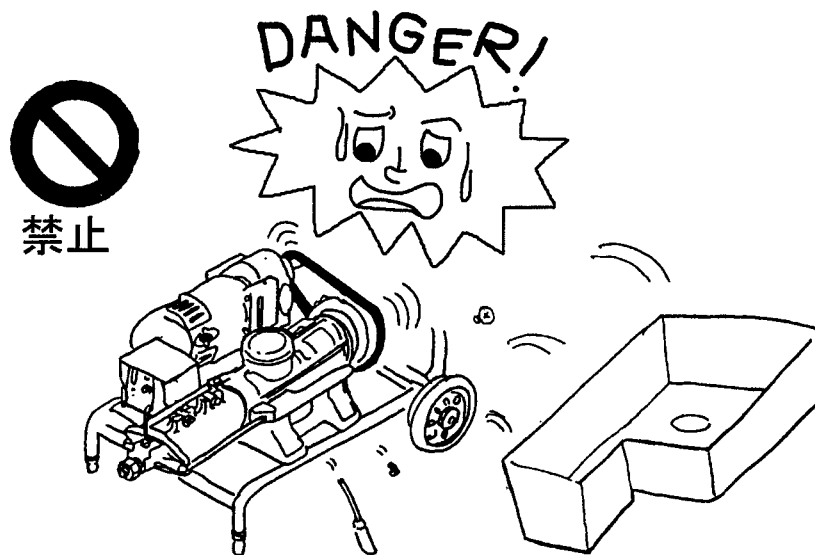


警告

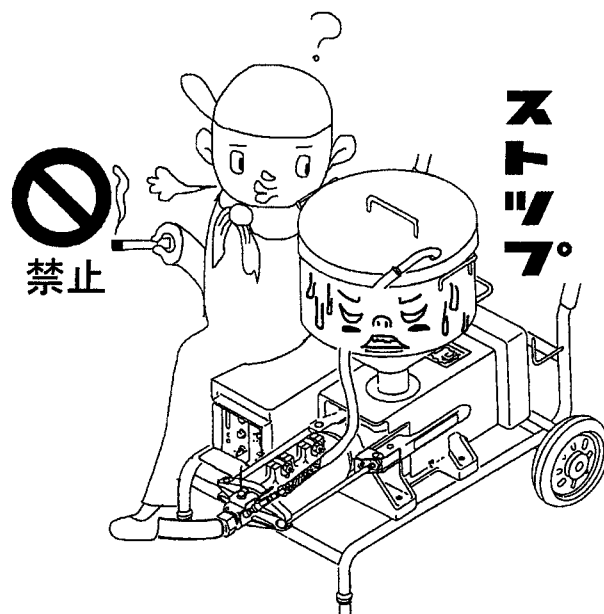
！回転部巻き込みに注意！

回転部に手や服が巻き込まれ大ケガを負う危険があります。

- 本体カバーを外して運転しないで下さい。



- 本体カバーのうえに腰掛けたり物を載せないでください。



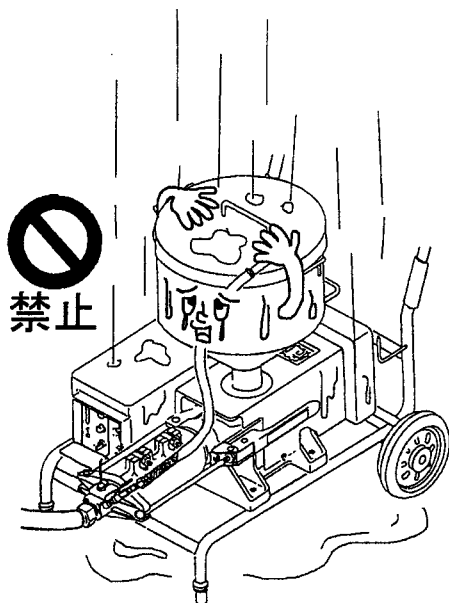
1 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

⚠ 注意

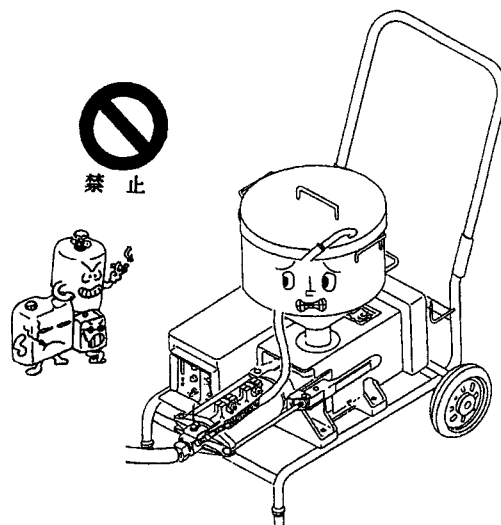
! 設置場所の注意!

周囲の建物、車等大切な物に飛散した塗料が付着しないよう塗装現場の養成(養成ネットを張り、保護カバー、シートかけ等)は必ず行って下さい。ホース破損による塗料の飛散にも備えてください。

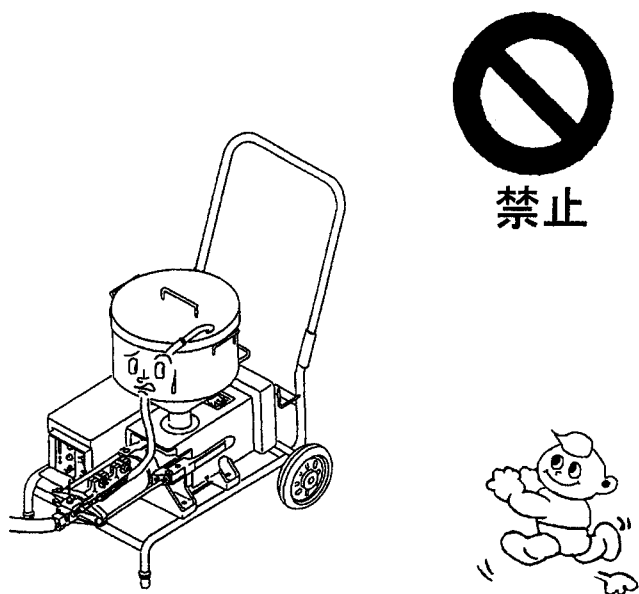
- 雨、濡れた場所、上記など湿度の多い場所での保管、使用は避けてください。感電事故、サビつきによる故障の原因になります。



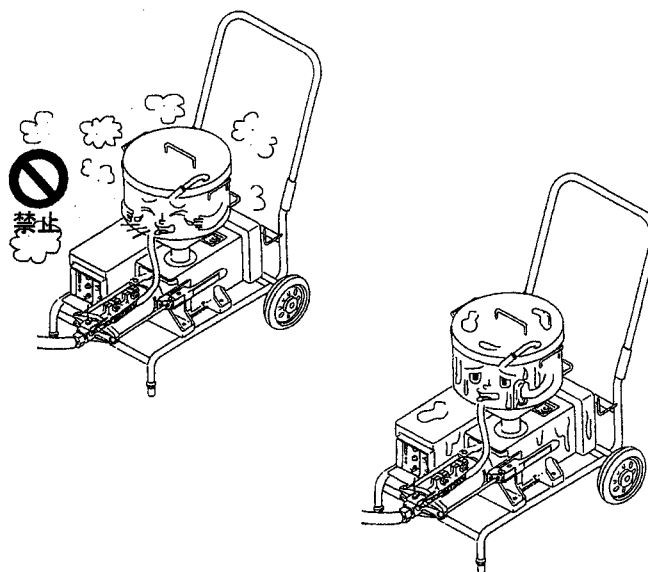
- 引火性、爆発性ガスや、腐蝕性ガスのある場所では使用しないで下さい。モーターの火花により火災、爆発の事故につながり大変危険です。



- 関係者以外やお子様は近づけないで下さい。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。



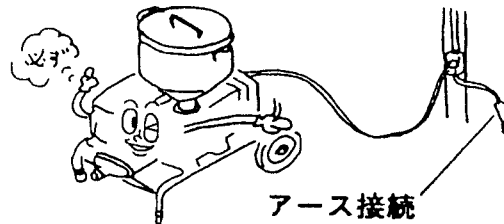
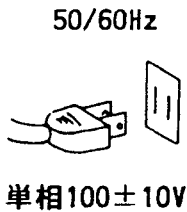
- ゴミ、ホコリの多い場やモーターの冷風をさえぎる場所では使用しないで下さい。モーター損傷の原因になります。



1 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

！使用電源、コードの注意！

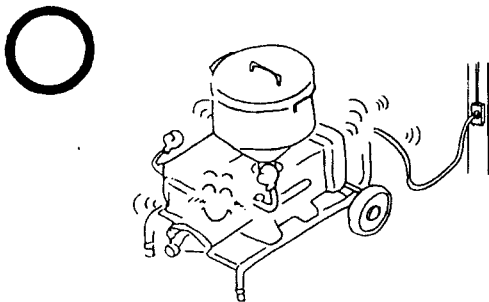
電源は単相100V 50/60Hz以外のものは使用できません。特に電圧は電源プラグの位置で運転時100V±10Vの範囲で使用してください。又、アースは接地された水道管等に必ず接続してください。等に必ず接続してください。



- 供給電源ヒューズ、ブレーカーは20A以上の物を使用してください。

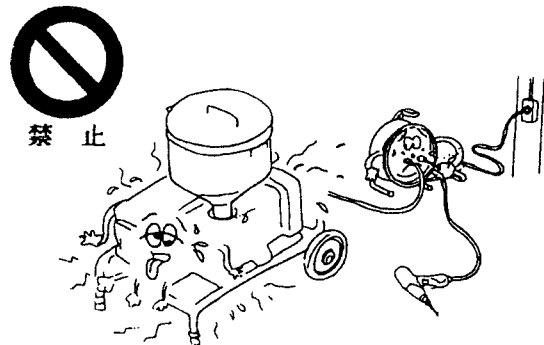
電源コードの接続は直接電源に差し込んで使用してください。やむをえず、延長コードを使用する場合太さは3.5mm²以上長さ30m以内のコードを全て引き出して使用してください。

他の機械との電源の共用は避けてください。ブレーカーが落ちたり、トラブルの原因になります。

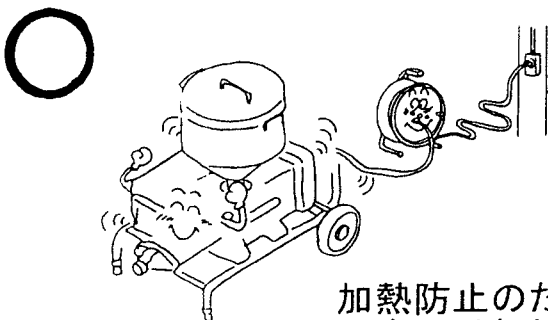


- 直接電源に接続

●太さ3.5ミリ平方センチ(公称断面積)以上
長さ30m以内



- 延長コードの他の機器との
併用は避ける



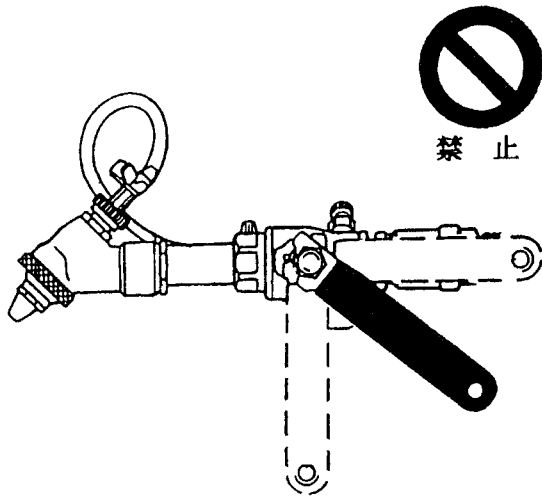
加熱防止のためコード
は全て引き出す。

- 無理な運転を続けると、モーター損傷保護の為、電源スイッチ(ブレーカー)が落ちることがあります。電源電圧を改善してください。
(一度ブレーカーが作動した場合は、3分程時間をおいてからスイッチを入れてください。)

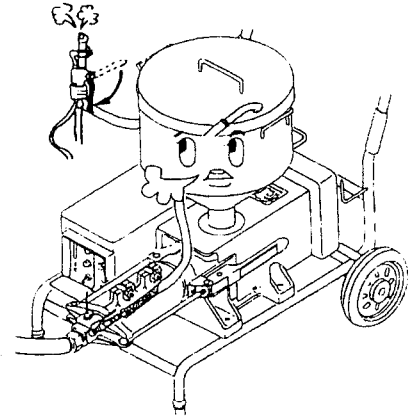
1 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

！取扱上の注意！

- 玉吹きガンのレバーを半開の状態で使用しないでください。パッキンの異常磨耗や、塗料詰まりの原因になります。



- 作業を中断する場合はスイッチを切り玉吹きガンを開けた状態にして残圧を除いておいてください。



- 油、グリス系又、溶剤系の塗料は、使用できません。水性塗料をご使用ください。



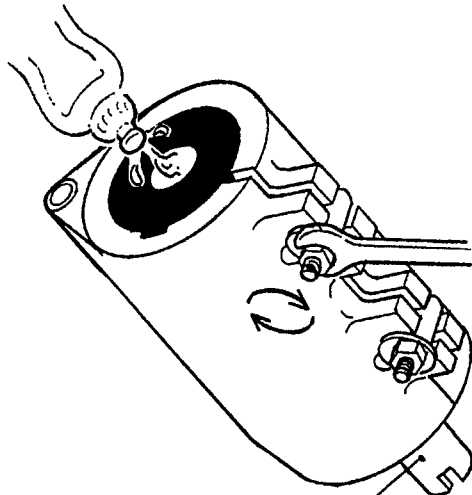
- リシン、ひる石等の骨材入りの塗料は、材料を通す前にベース(骨材抜き)又は、マーポローズエース等の化学のりを通してください。直接、骨材入り塗料を通しますと、ホースが詰まる危険があります。



1 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

! 取扱上の注意!

- 使用後は、ステーターハウジングの隙間を開け中性洗剤を通して保管してください。

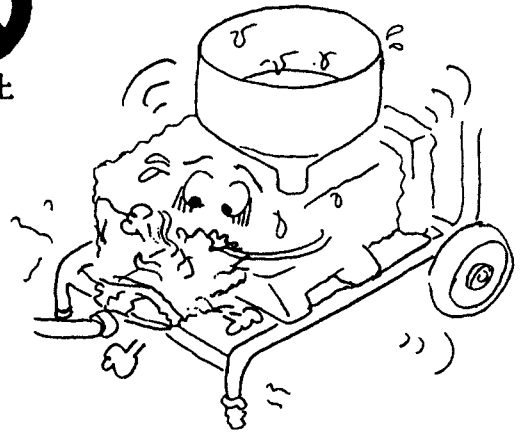


洗剤注入後、2~3回左右に回す

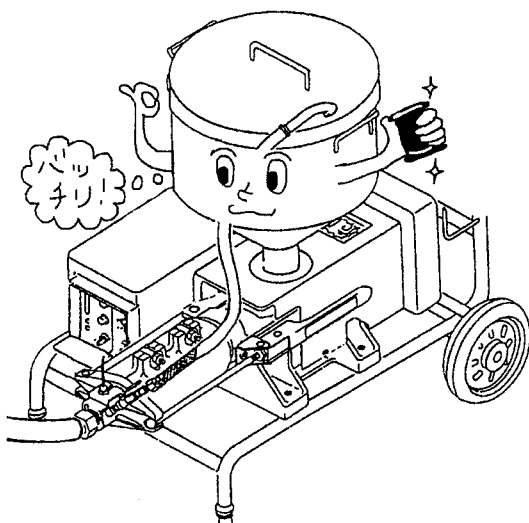
- ホッパー内に、水又は材料を入れずにポンプを空回転することは、絶対に避けてください。ステーターゴムが焼き付く恐れがあり、磨耗を早めます。



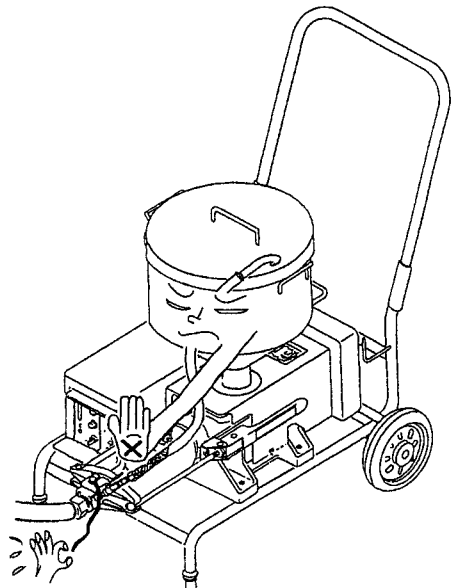
禁止



- 新品のステーターゴムを使用する場合は、水だけで、3分以上の運転はしないで下さい。3分以上使用する場合は、中性洗剤又はマーポローズを入れて運転してください。



- 圧力センサーは、圧力を感知する大事な部品です。コードを引っ張ったりしないでください。断線して故障の原因になります。(MP-50/MP-80)

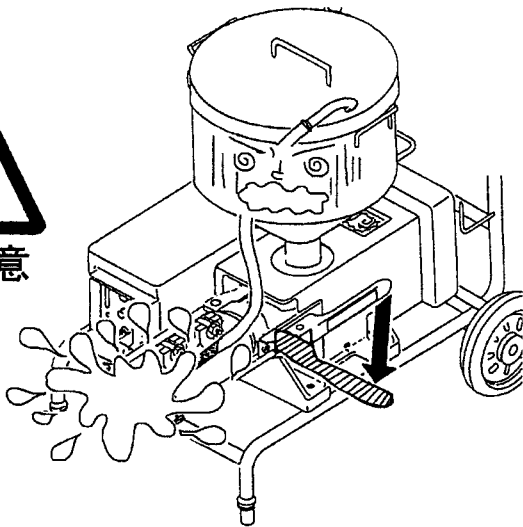


1 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

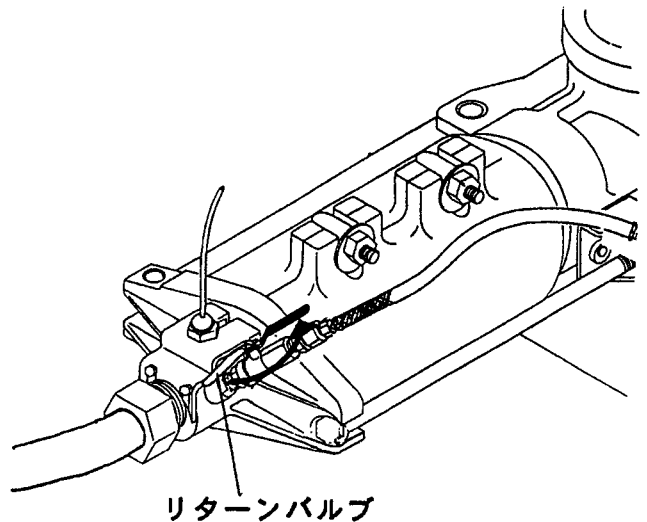
！取扱上の注意！

●リシン材が塗料ホース内で詰まったら、ホースを逆に取付け(ガン側とポンプ側を取付け変え)、リシンベースで圧送し、詰まりを除去してください。

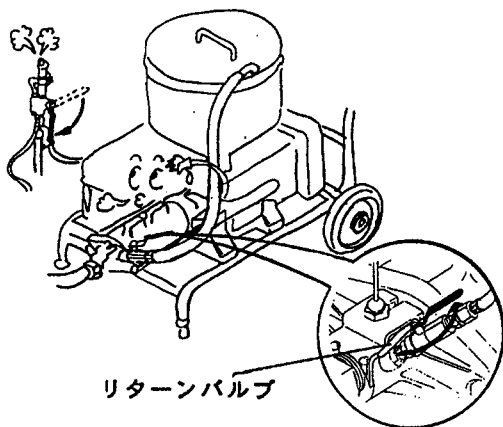
①ホースに圧力がかかっている時には、クランプレバーは絶対に引かないで下さい。又ホッパーに塗料が入っている時にクランプレバーを引くと、中の塗料が出てきてしまいますので注意してください。



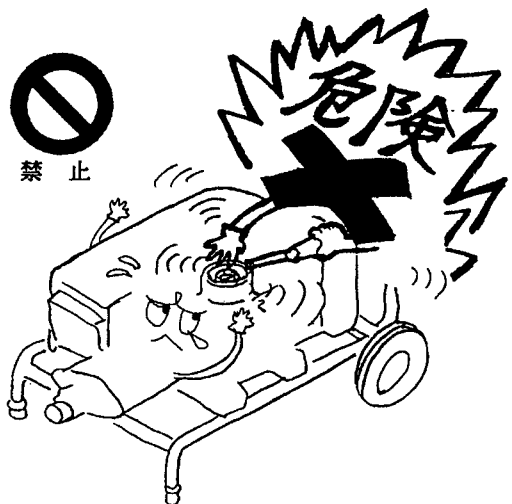
②ガン・ポンプからホースを取外す時は、リターンバルブを開いて、ホースの圧力を十分抜いてから作業して下さい。



作業を中断する場合は、必ず吹付けガンとリターンバルブから圧力を逃しておいて下さい。圧力をかけたまま放っておきますと、ホース詰まりの原因となります。



ホッパー取付口へは絶対に手、指、物などを入れないようにして下さい。巻込まれ大ケガを負うことになります。

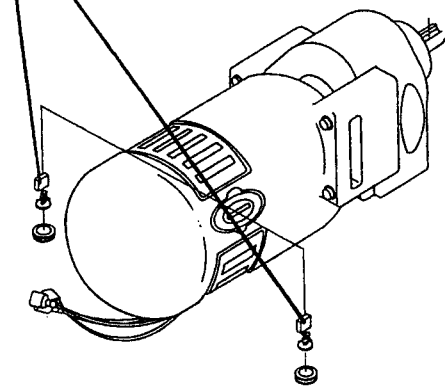


1 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

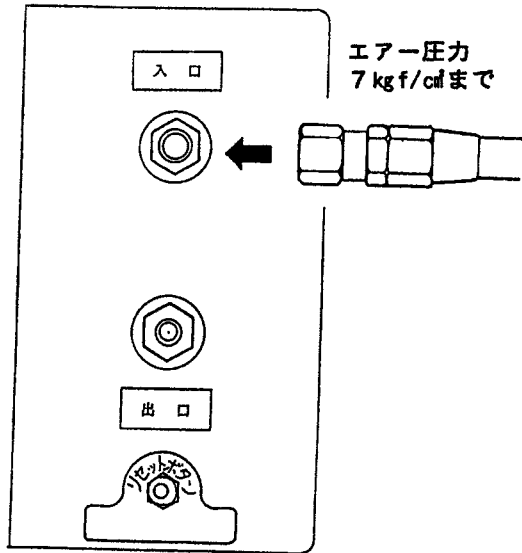
！取扱上の注意！

運転時間500時間に付き1度、モーターカーボンブラシを交換してください。

モーターカーボンブラシ



フローセンサーの耐圧は[7 kgf/cm²]です。エア圧力は[7 kgf/cm²]以上にしないでください。



2 仕様諸元表

型 式	MP50・MP50SC	MP80・MP80SC
電 源	100V(50/60Hz)	
モーター	整流子モーター 1200W(13A)	
ポンプ方式	スネーク式	
最大圧力(kgf/cm ²)	45	80
最大吐出量(kg/min)	6.0	4.0
制 御	歪ゲージ式圧力センサー(MP50/MP80のみ/エアフローセンサー)	
寸法L×W×H(cm)	68×50×28(折りたたみ時)	
重量(kg)	29	33
付 属 品	ホッパー60L ツインホース 塗材ホースφ16×40m(両PF3/4UN) エアホース付(RH7.0+02SN) マーポローズエース ジョイント1/2PF×1/4PF(ホース内水抜用) 玉吹きガン SGT-5 洗浄ホース(ホース内洗浄用) 洗浄ブラシ(ホース内洗浄用) スポンジ2ヶ(塗材ホース内圧送洗浄用) 工具一式	

型 式	SGT-5
方 式	圧送式内部混合型(レバーハンドル式)
最大使用圧力(kg/min)	80
エアーノズル	φ2.5
とんがりノズル	φ4 φ5 φ6 各1ヶ
平ノズル	φ4.5 φ5.5 φ6.5 各1ヶ
塗材入口	PF3/4 オス
エアー入口	PF1/4 オス
重量(kg)	1

3 各部名称・機能及び基本操作

MP-50/MP-80

玉吹きガン

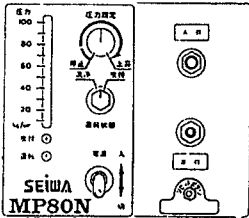
塗料とエアをミックスさせて
模様吹きを行います。
(→操作方法P17、18参照)

ツインホース

塗料ホースとエアが一体に
なった高粘度水性塗料用ホース

制御ボックス

本機の運転・停止を制御します。



(→操作方法P14、15参照)

圧力センサー

圧力を感知します。

台車

リターンホース

塗料を戻すホース

ホッパー

塗料を入れる容器1斗
缶3~4缶入ります。

本体カバー

! 取外して運転しないで下さい。
回転部が露出して危険です。

警告

回転部に注意
回転部分に手や物を絶対
に入れないで下さい。
指、手が巻き込まれ重傷
を負うことになります。

警告



巻き込みに注意
ホッパー取付口に手や
物を絶対に入れないで
ください。
巻き込まれ重傷を負う
ことになります。

危険ですから圧力がかかっている状態では
このレバーを引かないように注意して下さい

警告ラベル

見えにくになったら新しいものに貼り替え
て常に確認できるようにして下さい。

リターンバルブ

ホース内のエア(空気)抜き
及び、作業中の圧力抜き

クランプレバー

ポンプハウジングの取り出しを
可能にします。

3 各部名称・機能及び基本操作

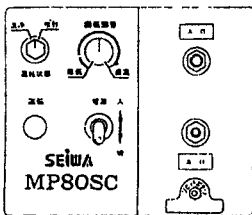
MP-50SC/MP-80SC

玉吹きガン

塗材とエアーをミックスさせて模様吹きを行います。
(→操作方法P17、18参照)

制御ボックス

本機の運転、停止を制御します。



ツインホース

塗料ホースとエアーが一体になった高粘度水性塗料用ホース

台車

ホッパー

塗料を入れる容器1斗缶が3~4缶入ります。

リターンホース

塗料を戻すホース

本体カバー

! 取外して運転しないで下さい。
回転部が露出して危険です。

埋 栓

50SC/80SCのみ

リターンバルブ

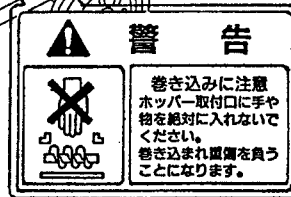
ホース内のエアー(空気)抜き及び作業中の圧力抜き

クランプレバー

ポンプハウジングの取り出しを可能にします。

警告ラベル

見えにくくなったら新しい物に貼り替えて、常に確認できるようにしてください。



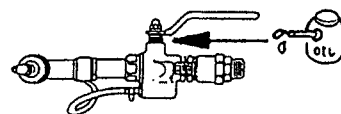
危険ですから圧力がかかっている状態ではこのレバーを引かないように注意して下さい

4 基本操作手順

4-1 ①塗料ホース・エアホース・リターンホース・ガン・各ジョイントの取付を行って下さい。

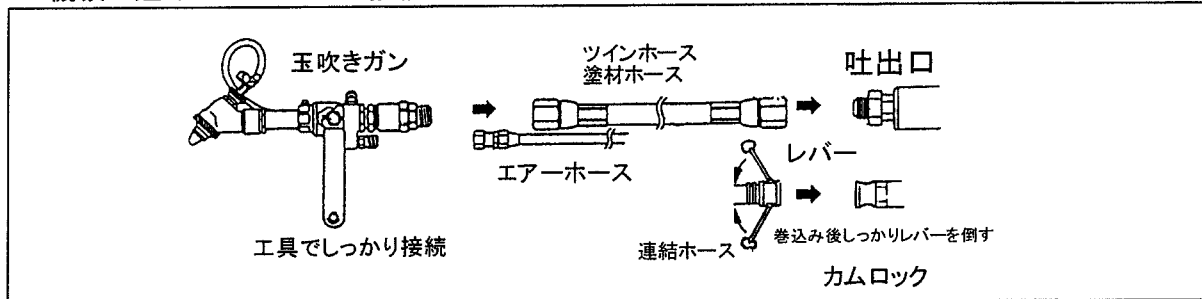
<玉吹きガンの確認>

- エアノズル・エアパイプ等の通路に塗料の詰まりはないか。詰まっている場合は針金等で取り除いてください。
- 玉吹きガンのレバーが固い場合は、バルブにオイルを垂らして2～3レバーを動かしてください。



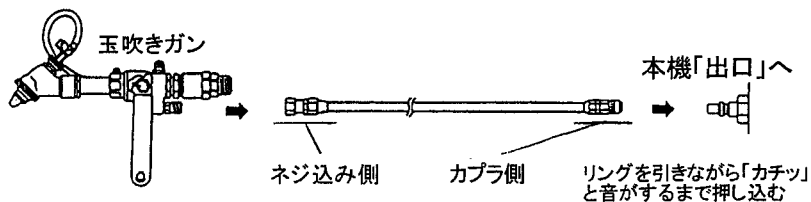
準備

②本機を平らな地面に置き、ツインホースを玉吹きガンと本機吐出口へ接続し、連結ホースも本機吸い込み口にしっかり接続してください。



⚠ 注意

エアホースは玉吹きガンと本機を接続する際、向きがありますのであらかじめ確認してから接続してください。



⚠ 注意

③本機「入口」へはコンプレッサーからのエアホースを接続します。(17-圧力7kgf/cm²)

- コンプレッサーからのエアホースとツインホースのエアホースを本機に接続する場合「入口」「出口」を間違えないように注意してください。間違えた場合、作動しません。
- エアホース取付、取り外しの際は、必ずコンプレッサー元のコックを閉じ、ホース内のエアを完全に抜いてから行って下さい。噴出してホースが暴れたり、異物が噴出すると顔や体に当たり危険です。

④電源スイッチが「停止」であることを確認して電源プラグを単相100V電源に差し込んでください。(→使用電源コードに注意P4を守ってください。)

⑤吹付けタイル・下吹き塗料を使用する場合は、ホッパーに約1/4Lの水(15L)を入れます。

⑥骨材入り塗料を使用する場合は、まずホッパーにリシンベース等(骨材抜き)又は、水に溶かした化学のり(マーポローズエース)を入れます。

4 基本操作手順

4-1

<ノロ通し>

⑦使用前には必ず、ベース、又はノロ通しを行ってください。

！これを行わず、いきなり塗料を入れると、特にリシン材では塗料ホース内にすぐに詰まりの原因となりますので注意してください。

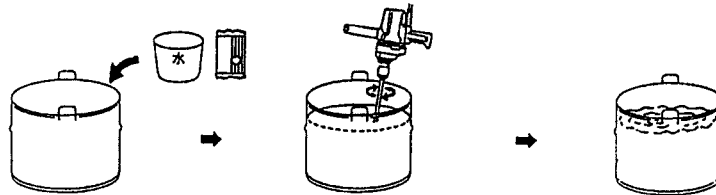
準

●ノロはリシンベース、又は、付属のマーポローズエースをご使用ください。

備

マーポローズエースの使用方法

目安として1斗缶半分程度(約10L)の水に対してマーポローズエース1袋をいれてください。



攪拌の目安は6~7分です
その後20~30分放置

水の中にマーポローズエースを入れたら攪拌機でよく攪拌します。攪拌していると水に少しずつ粘度がでてきます。この水が少しドロツとした感じになるまで攪拌します。(攪拌時間の目安は6~7分です)

その後20~30分放置してください。(使用前に再度1~2回攪拌してください。)

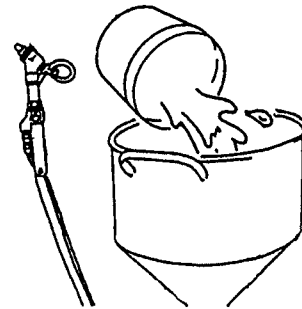
！冬場など温度の低いときは、粘度が高くなるまで時間がかかりますので、30~40℃の温水を使用してください。

！十分な粘度にならないうちに使用すると、ノロとしての効果が半減してしまい詰まりの原因になりますので注意してください。

ノロ通しの手順

- リシン材の場合
 - a ベース又は、ノロ通し(10L以上)⇒b リシン材
- タイル材の場合
 - a ベース通し(20L以上)⇒b タイル材
- ホッパー、容器にベース又はノロを入れ、玉吹きガンのレバーが開いていることを確認して、電源スイッチを「運転」、切換スイッチを「洗浄」にして、ノロ通し手順に従い、ホース内にノロを十分に通します。

ホース内に充分循環させる



！この時、切換スイッチが「洗浄」であるため、玉吹きガンにエアを流さなくてもポンプは作動します。余分なね返りをなくす為にもコンプレッサー側のコックを閉じたままにしておくか、玉吹きガンのエア調整バルブを絞った状態で運転させてください。

△注意

「洗浄」では必ず玉吹きガンのレバーを開いておいてください。閉じたままの運転は、圧力が上がりすぎてレバーが固くなったり、開いた瞬間、勢いよく吹き出しますので注意してください。

4 基本操作手順

4-2

作
業
開
始

① 運転状態切換ノブを「洗淨」にして、電源スイッチを入れます。

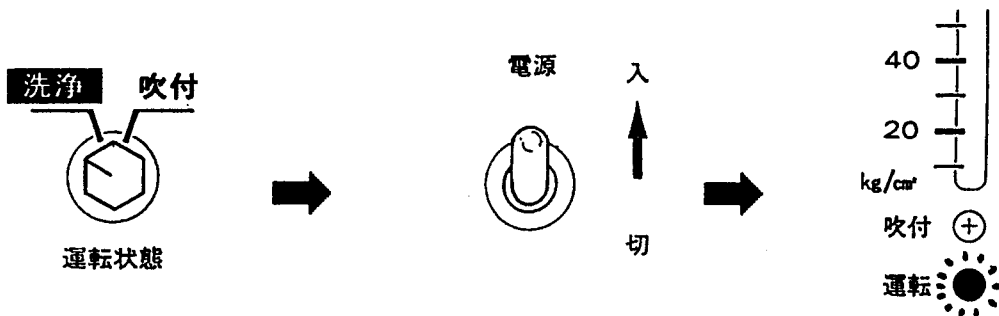
● 電源スイッチを入れると運転ランプが点きます。

MP-50
MP-80

- 目標圧力に達すると自動的にポンプは止まります。
- 圧力設定ノブを回しすぎるとポンプは止まりません。
(水では約25kgf/cm²位までしか上がりません)

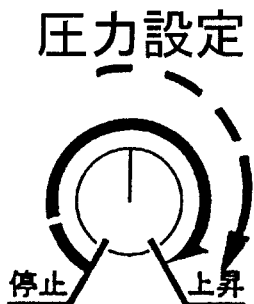
MP-50SC
MP-80SC

- 回転調整ノブにより吐出量の調整ができます。



MP-50/80

- 圧力設定ノブを上昇側へゆっくり回してください。ポンプが動き出します。



MP-50SC/80SC

- 回転調整ノブを「最低」から「最高」へゆっくり回してください。ポンプが動き出します。



△ 注意

- リシン材はベース、骨材の配合比や粘度によりホース内に詰まらせることがあります。この時は詰まった箇所をほぐし、ポンプを逆転させ、圧力を抜いてから塗料ホースの玉吹きガン側と本機側を入れ替え、リシンペースで圧送させてください。

水で圧送させるとかえって詰まりを大きくしますので水での圧送はしないで下さい。

- ホッパーに何も入れない状態で電源スイッチを入れないで下さい。空運転はステーターゴムが焼き付き、寿命を短くさせる恐れがあります。

△ 注意

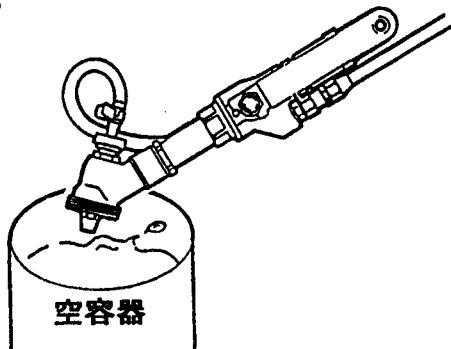
塗装不良防止の為吹き付け作業を行う前にテスト吹きを行い、
材料が適応するか確認してご使用ください。

4 基本操作手順

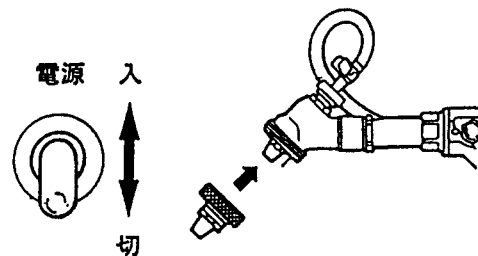
4-2

作業開始

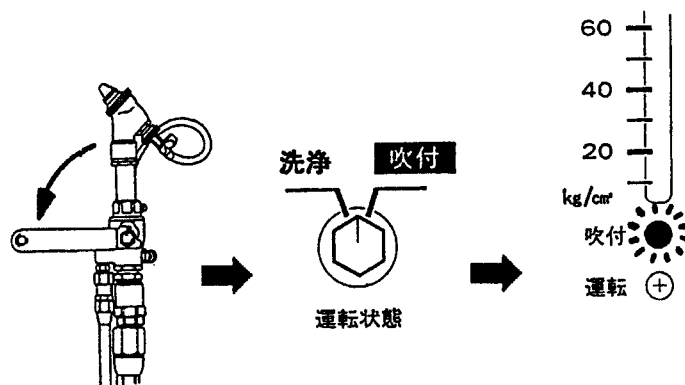
- ①リターンバルブを閉めてから、ガンを開き、ガン先からベース又は、ノロが出てきたら、空容器等に出してください。



- ②ガン先からノロが出てからホッパー内のノロをある程度空にして一度電源スイッチを切り、ミックスキャップを取付けてください。

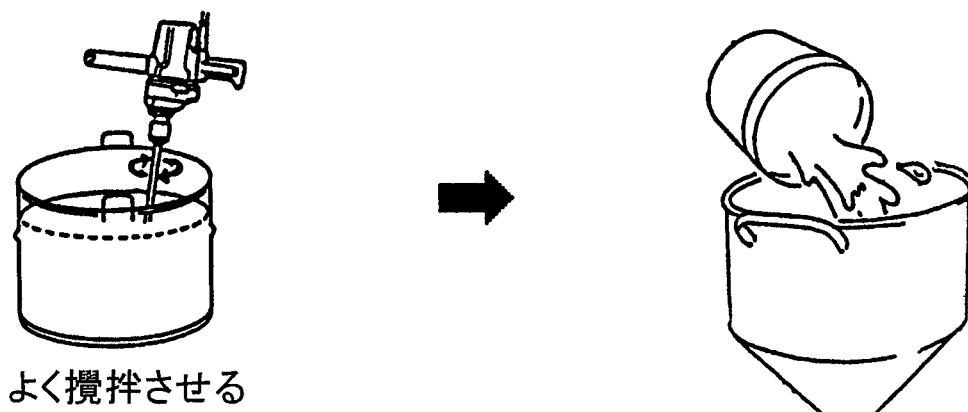


- ③吹付けガンを閉じ、運転状態切替えノブを「吹付」にしてください。吹付けランプが点灯します。ポンプは自動停止します。(MP-50/MP-80)



- ガン先からエアが出るとポンプは動き、エアを止めるとポンプは止まります。
- エア吹付圧が0.8 kgf/cm²以上でないとフローセンサーは作動しません。

- ④よく攪拌した塗料をホッパーへ入れてください。吹付けガンを開きエアが出るとポンプが動き出します。



4 作業操作手順

4-2

作業
開始

MP-50/80

●希望の吐出量が出るよう圧力設定ノブでコントロールしてください。

▲注意 粘度が低い場合は吐出量の調整が難しくなります。

MP-50SC/80SC

●希望の吐出量が出るように回転調整ノブでコントロールしてください。

▲注意 粘度が高い場合は調整範囲が少なくなります。

《圧力設定参考値》

材 料	MP-50吐出圧力	MP-80吐出圧力
アクリルタイル	20～30 kgf/cm ²	40～60 kgf/cm ²
リシン	10～15 kgf/cm ²	10～20 kgf/cm ²

4 作業操作手順

4-2

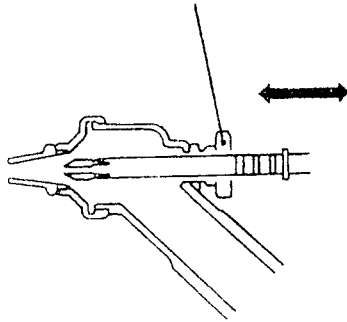
作業開始

吹付模様(玉の大きさ・リシンの目立等)の調整

a. エアーノズルの位置

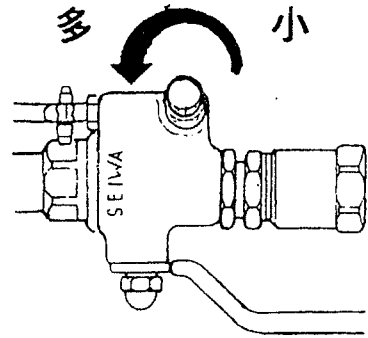
ガンのパイプ調整ナットをゆるめエアーパイプセットの位置を調整します。

エアーパイプ整ナット



b. エアー吹付圧

ガン手元のエアー調整ノブで調整します。



<タイル玉吹き>

	小玉 ←	中玉	→ 大玉
エアーノズル	φ 2.5		
とんがりノズル	φ 5	φ 6	φ 8
エアーノズルの位置	前		後
エアー量	多		少
塗料粘度	低		高

※ 希釈は塗料メーカーのカタログ値、又はカップガン吹きよりやや少なめ

<ベース・リシン吹き>

	パターン小 ←	パターン大
エアーノズル	φ 2.5	
平型ノズル	φ 4.5	φ 5.5 — φ 6.5
エアーノズルの位置	前	
エアー量	多	
塗料粘度	低	

※ リシン吹きの場合、エアーノズルを前に出し過ぎると塗材通路が狭くなり、塗材がつまりますので注意してください。

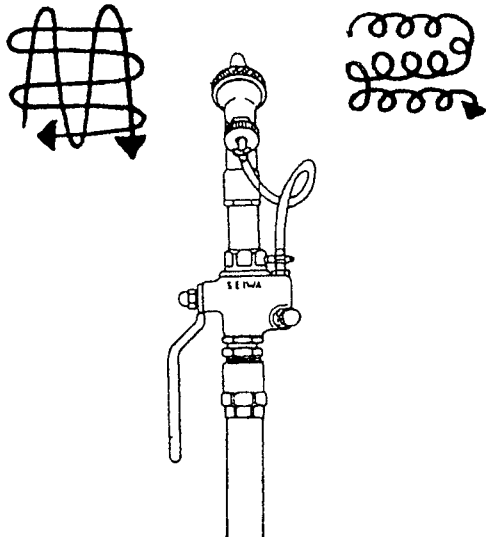
4 作業操作手順

4-3

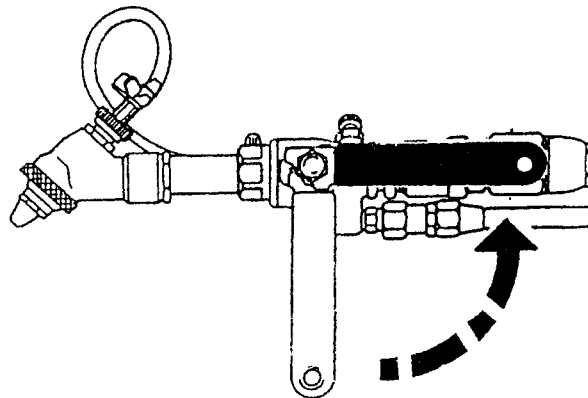
吹付作業

●ガンの振り方

●吹付距離に一定に保ちながら、縦横又は回しながら吹いてください。



●ガンのレバーの開き始めは、塗材粘度によりネタが出すぎる場合がありますので、ガンを少し早く動かしながら、レバーを少しずつ開き、全開にしてください。



少し早く動かしながら、レバーを少しずつ開く

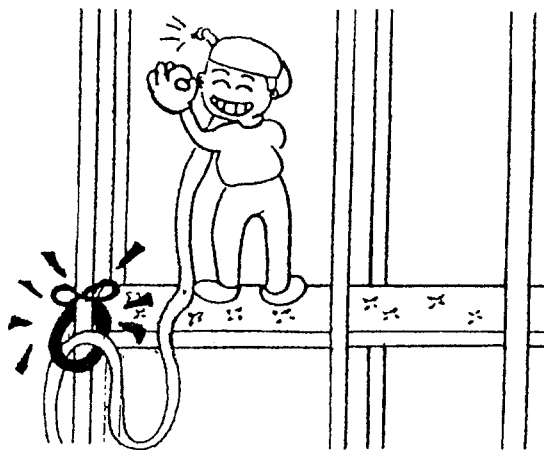
●作業補助者の設置

吹付作業は、高所・遠所に吹付機から離れて行うことが多いため、塗材の補給や、吹付作業者の移動に伴い、塗材ホースの移動を補助する人を置くと、吹付作業のスピード化や円滑化が計れます。

- ネタ（塗材）つぎたしは早めに行い、エアーの吸込みを防いでください。吸込まれたエアーが吐出する際にパターンを乱し、塗面を汚すことがあります。又、噴出量が急に落ちることもあります。
- 塗材ホースの中のネタを全部使い切る場合には、洗浄の時と同じように、塗材ホースにスポンジを1ヶ入れ、ノロで圧送してください。

●ホースフックの利用

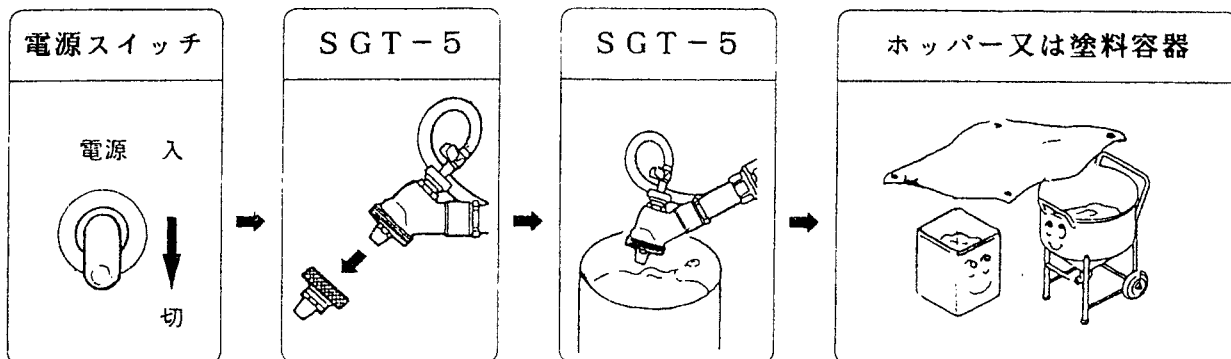
●高所作業の場合は、ホースフック又は、ロープ等で、塗材ホースの中間を縛り、塗材ホースの重さが腕にかからないようにしてください。
高所に引っ張り上げた塗材ホースを直接手に持ちながら作業すると、作業スピードが落ちるばかりか、足場の安定を失い危険です。



4 作業操作手順

4-4 作業中断

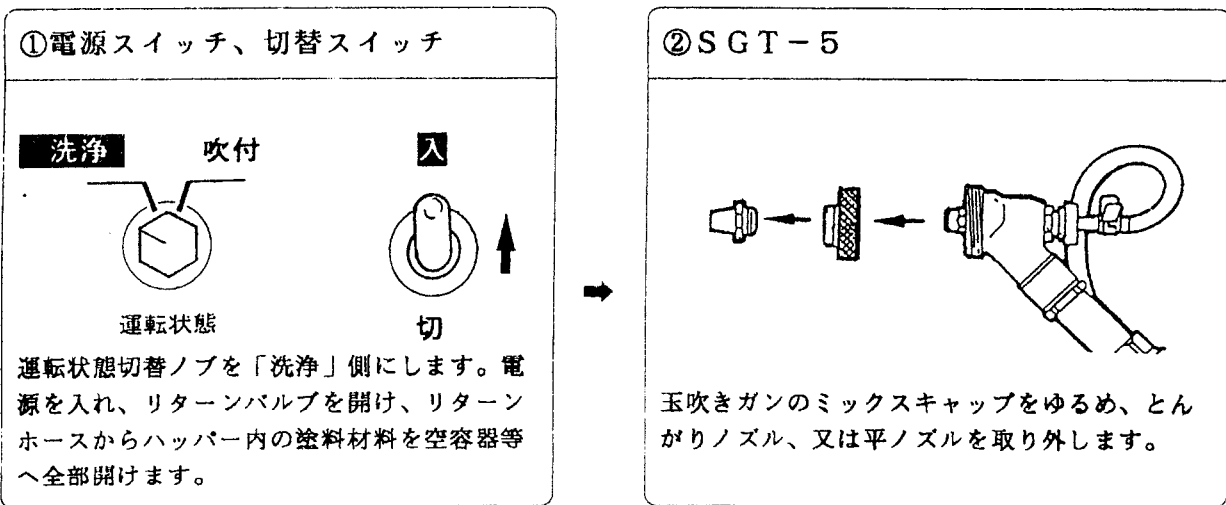
吹付作業を中断する場合は、電源スイッチを[停止]にした後、塗材ホース内の圧力を抜き、ミックスキャップを外して、ガン先端を水の中に入れ、更にホッパー又は塗料容器をビニールシート等で覆い、塗材の乾燥固化を防いでください。



尚、ガンのレバーを止めても、エアパイプ先端からはわずかにエアがもれて、エアーノズルや、エアパイプに塗材が侵入固化することを防ぐように設計されています。

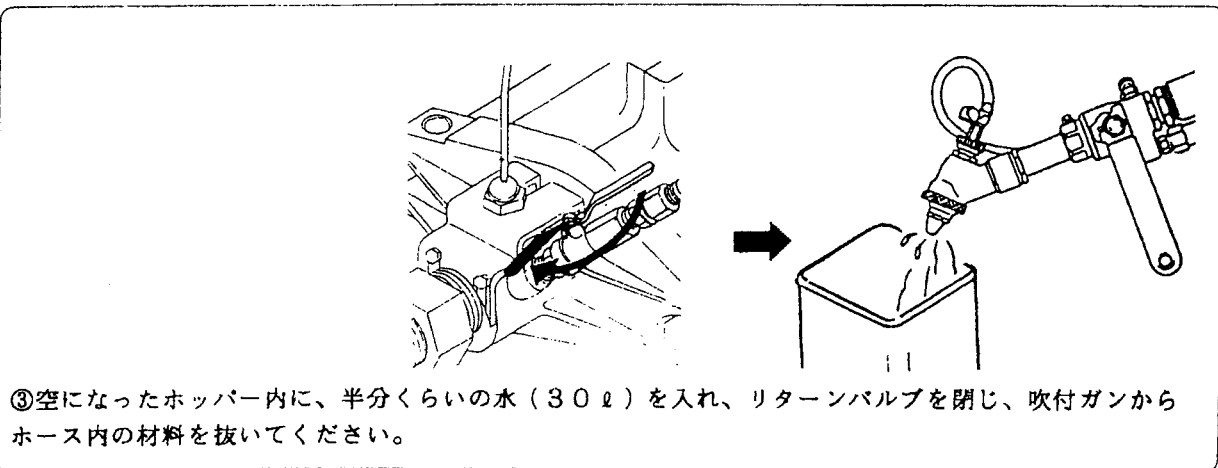
- ⚠ 必ず塗材ホース内の圧力を抜いてください。
- ⚠ 洗浄をする場合は、ホース内の残圧を抜くため、必ず電源スイッチを「停止」にしてから、ガンのレバーを開いたままの状態にして置いてください。

4-5 洗浄・手入れ



運転状態切替ノブを「洗浄」側にします。電源を入れ、リターンバルブを開け、リターンホースからホッパー内の塗料材料を空容器等へ全部開けます。

玉吹きガンのミックスキャップをゆるめ、とんがりノズル、又は平ノズルを取り外します。

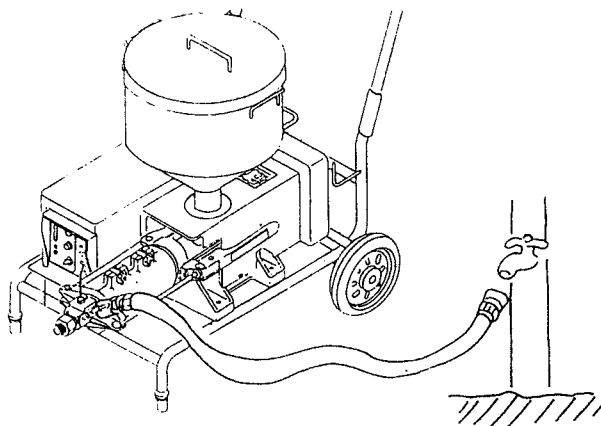


③空になったホッパー内に、半分くらいの水(30ℓ)を入れ、リターンバルブを閉じ、吹付ガンからホース内の材料を抜いてください。

4 作業操作手順

4-5

洗浄・手入れ



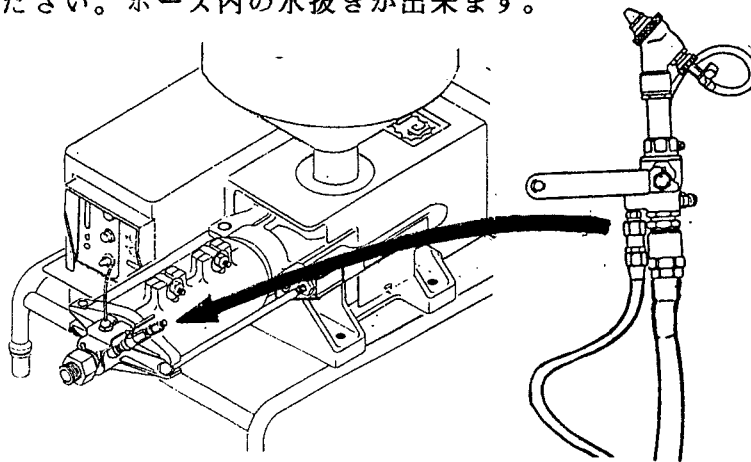
④リターンホースを外し、リターンバルブに付属の洗浄ホースを取付、水道水を勢いよく通します。

近くに水道水がない時は、ポンプ出口の塗材ホースを外し、スポンジを塗材ホースに1ヶ入れて、もう一度本体に接続してください。

再度、ホッパー内に半分くらいの水を入れ、ポンプの運転し、吹付ガンの先端からスポンジが出てくるのを確認します。スポンジは4～5分間で出てきます。

⑤ホッパーの水を全て抜いてください。

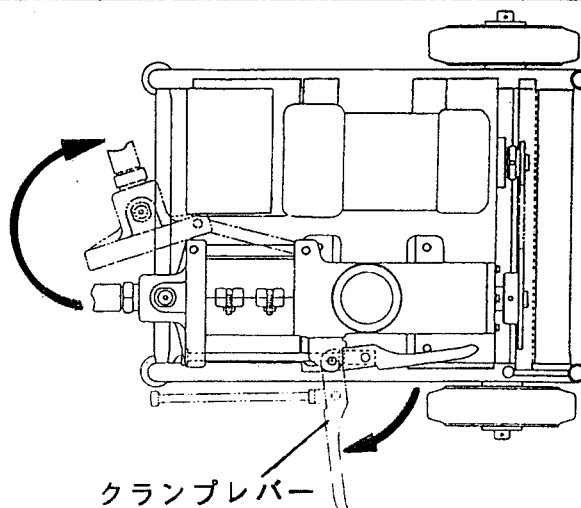
⑥付属のジョイントをリターンバルブに取付、エアーホースをつなげてホース内に圧縮エアーを通してください。ホース内の水抜きが出来ます。



⑦ホース内に圧力がかかっていないことを確認してクラムプレバーを引きポンプ部を外してください。

ステーター・ローター・ポンプヘッド・スクリュー等は、きれいに洗浄してください。

▲警告 加圧中は、絶対にクラムプレバーを引かないでください。塗材が噴出し危険です。

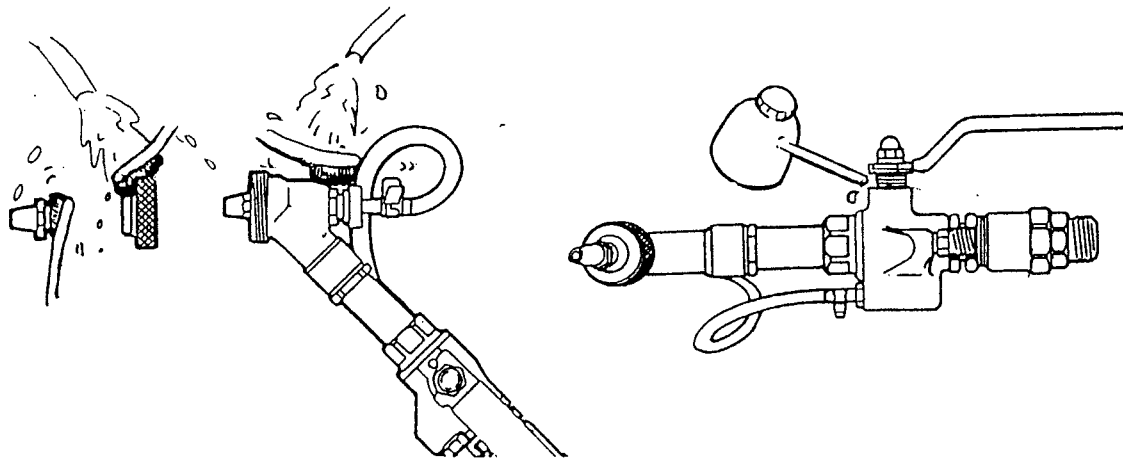


4 作業操作手順

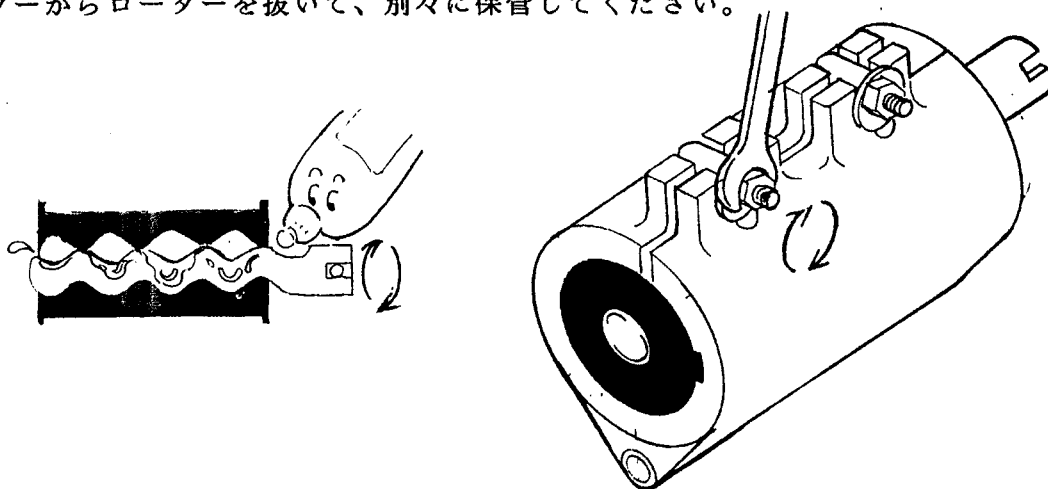
4-5

洗浄
・
手入れ

⑧ガンの塗料ノズル・エアーノズル・エアーパイプの塗材付着は完全に洗い流してください。又、ガンの塗料通路へオイルを垂らして、レバーを3～4回開閉し、バルブの動きをスムーズにしておいてください。



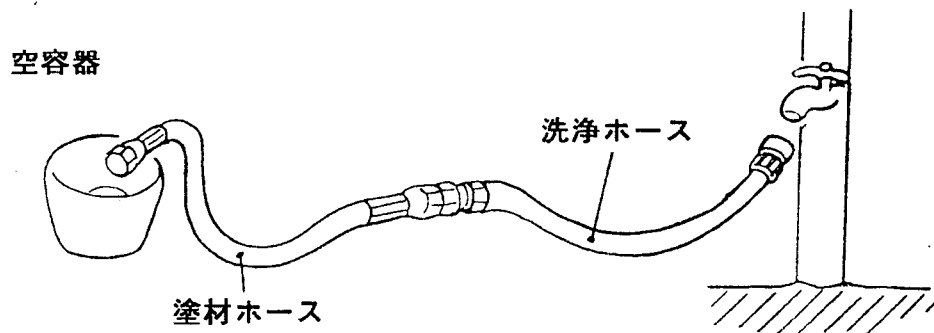
⑨洗浄後は、ローターとステーター部に中性洗剤を流し入れてください。また、ステーターハウジングをゆるめ、隙間を開けて保存してください。長期間保存される場合は、ステーターからローターを抜いて、別々に保管してください。



5 上手な使い方と保守・点検

5-1. 塗材ホース内に残った材料を簡単に抜取り洗浄する方法

塗材ホースをガン、本機から外し、一端を空容器に入れ、もう一端に付属の「洗浄ホースセット」を取付けます。洗浄ホースセットの他端を水道じゃ口に接続します。じゃ口を開いて材料を押し出してください。



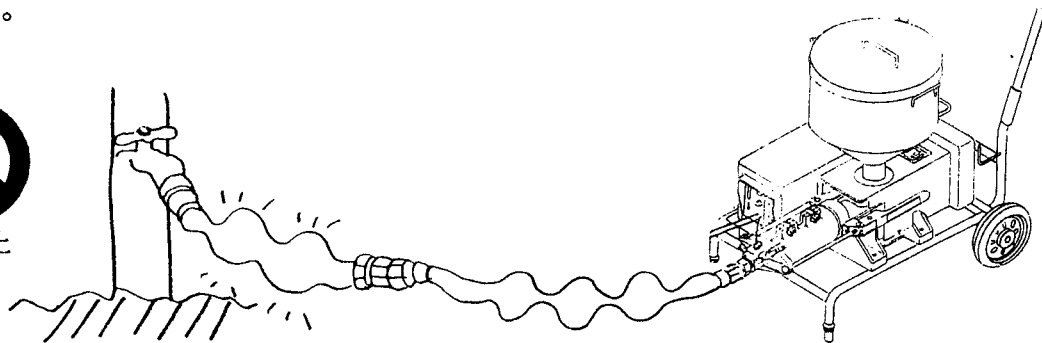
▲ 注意

洗浄ホースが抜けたり、破裂する恐れがありますので、下記の警告を必ず守ってください。

- 水道の水圧は2～3 kgf/cm²です。粘度の高い材料や塗材ホースが長い場合は圧送できません。あらかじめある程度の材料を本機で押し出してから行ってください。
- 塗材ホースの出口をふさいだり、塗料が詰まった状態では使用しないでください。
- スポンジを入れて圧送しないでください。スポンジが詰まることがあります。
- 洗浄ホースを本機に接続して使用しないでください。
- 水道のじゃ口に洗浄ホースセットを取り付けた状態で塗材ホース側から圧力を加えないでください。



禁止

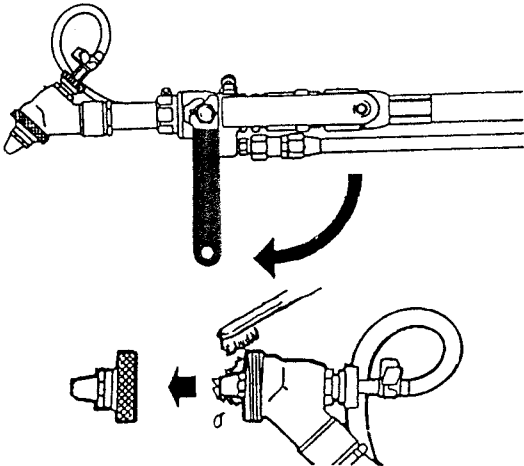


5 上手な使い方と保守・点検

5-2. 骨材を使用して塗材ホースをつまらせない方法

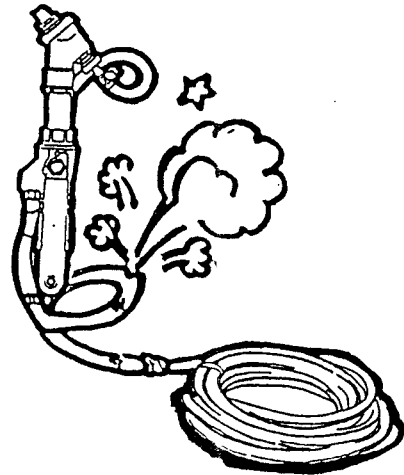
骨材の使用時は、最初にノロ通しを行うことが大切ですが、それ以外にも、下記内容に十分注意して、塗材ホースをつまらせないように、ご使用ください。

- 1
- 吹付けていて正常に噴出しない場合
 - 骨材の出方が少なかったり、水分のみが噴出する場合



ガン先端でつまりが起きていますので、すぐガンのレバーを閉じ、ミックスキャップを外し、先端部の異物、及びその周辺を取り除いてください

2



塗材ホースは、「丸めたり、折った」状態で使用しないでください。

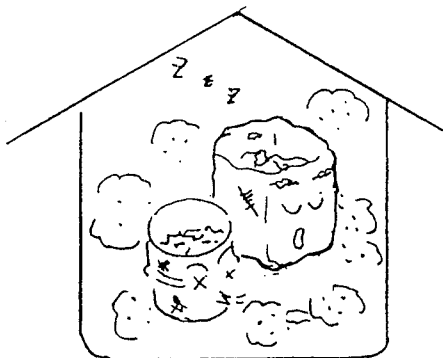
3

●骨材の攪拌^{かくはん}について

骨材は十分に攪拌して使用してください。又、骨材を追加する場合は別容器にて攪拌した骨材を使用中の容器に入れてください。攪拌せずに直接足しますと、攪拌不足の骨材のみを吸込み、つまりを生じますので注意してください。

特に、角缶の場合は、四隅に攪拌羽根が入らず、攪拌不足となり骨材のたまりが多くなります。

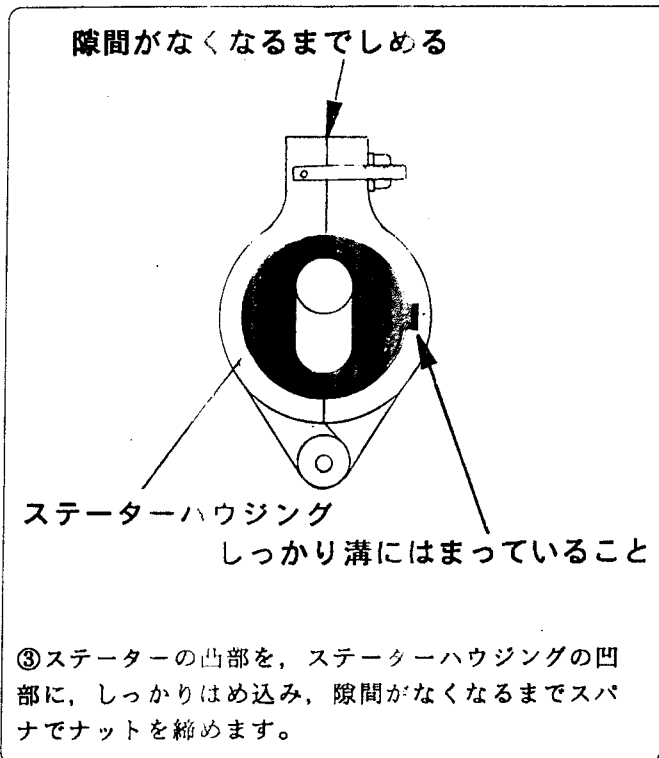
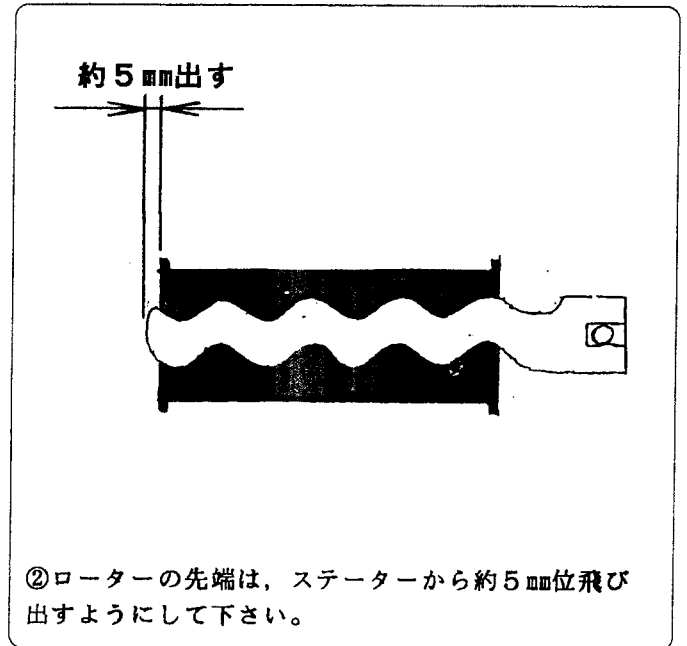
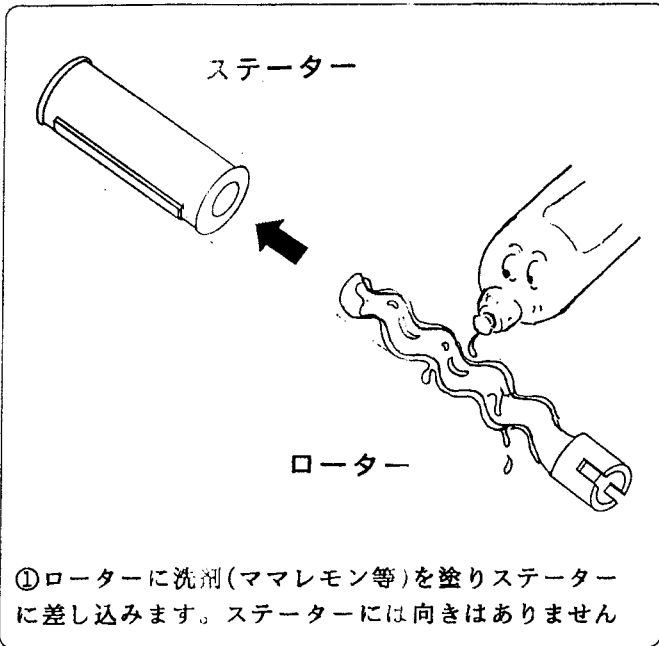
4



古い使用缶（ゴミ・塗材が固着した缶）を使用しますと、異物が先端でつまる原因となりますので、使用しないでください。（タイル材にも同様のことが言えます）

6 ポンプの組立

6-1 ローターとステーターの組立



▲ 注意

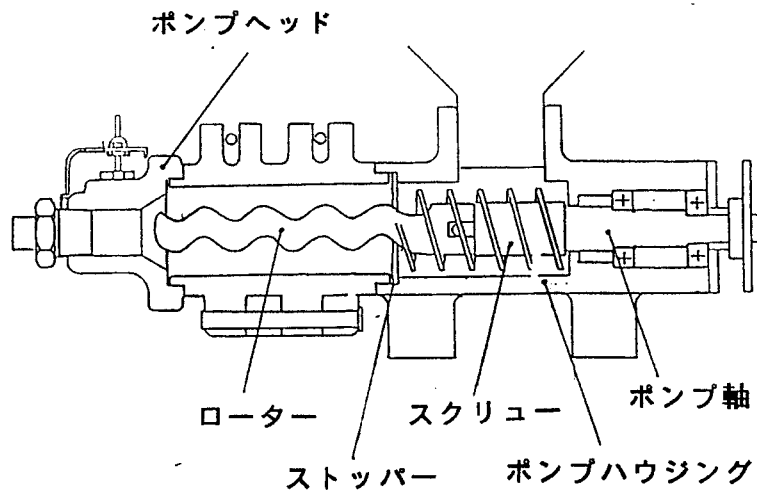
●溝に入っていないとステーターハウジングが締まりません。また、隙間があると圧力が上がらない原因になります。

6 ポンプの組立

6-2 ポンプの組立て

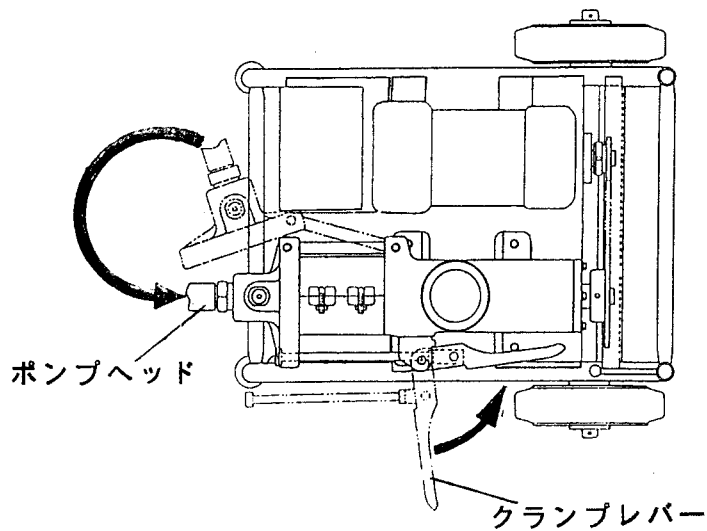
① スクリューとポンプ軸を噛み合わせます。

② ストッパーを入れ、スクリューとローターを噛み合わせます。



▲注意 ストッパーを入れ忘れますと圧力が上がりません

③ クランプレバーでポンプヘッドを締めます。



7 トラブル対策

現 象	原 因	対 策
〔洗淨〕にしても モーターが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていない ●ステーターを強く締め過ぎている ●圧力設定が低い ●電源・センサー等のコード断線または外れ ●電圧調整不良 ●過負荷保護装置(ブレーカー)が働いている 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れる ●ステーターハウジングを少しゆるめる ●圧力設定ノブを右へ回す ●コードを継ぐ ●電圧を調整する ●負荷を取除いた後、時間をおいてリセットする
〔吹付〕にすると モーターが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●エアーを出していない、またはエアー量が少ない ●近接センサーが調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●エーを出す、またはエアー量を増やす ●b.調整
ポンプが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●スクリューの入れ忘れ ●駆動伝達機構の部品故障 	<ul style="list-style-type: none"> ●スクリューを入れる ●修理
圧力が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ●塗料不足 ●ステーターの摩耗 ●ローターの摩耗 ●ストッパーが入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●塗料補給 ●交換 ●交換 ●ストッパーを入れる
吐出量不足または 出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●塗料粘度が高すぎる ●ステーターの摩耗 ●ローターの摩耗 ●塗料通路に塗料が推積 ●塗材ホースが細い ●塗材ホースが長い ●塗材ホース内で詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> ●希釈する ●交換 ●交換 ●分解・洗淨 ●太いホースを使う ●短いホースを使う ●詰まり除去
玉吹ガンのエアーが 弱い	<ul style="list-style-type: none"> ●エアーノズルの詰まり ●エアーパイプの詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> ●分解・洗淨 ●分解・洗淨
ポンプから塗料が 漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●Oリングが入っていない ●クランプレバー締付不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●Oリングを入れる ●ボルト長さを調節して締付を強くする

マルチポンプの使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	MP-80	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先	TEL ()
ご購入 年月日			

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所/精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携帯	090-3212-9902
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携帯	080-1838-8248
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携帯	090-7404-1915
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	携帯	080-1838-8248
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携帯	080-1838-8248
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携帯	090-8855-1690
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携帯	090-8855-1690
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携帯	080-1794-4141